

平成 2 1 年 6 月 2 日

清水町議会議長 田 中 勝 男 様

清水町議会総務文教常任委員会
委員長 口 田 邦 男

所 管 事 務 調 査 に つ い て

常任委員会活動として行う所管事務調査について、このたび調査を終えたので、その結果を下記のとおり報告いたします。

記

1. 調査事項 教育行政の現状について

2. 調査期日 平成 2 1 年 5 月 2 2 日

3. 調査の結果

①新学習指導要領について

学習指導要領については、全国どこの学校で教育を受けても一定の教育水準を確保するために、各教科等の目標や内容などを文部科学省が定めており、改訂により本年 4 月から新しい教育内容がスタートしているため、教育課より説明を受けた。

新学習指導要領は、生きる力を育成すること、育成のバランスを重視すること、豊かな心や健やかな体を育成することを基本方針に、小学校が平成 23 年度、中学校が平成 24 年度の完全実施に向け、本年度から移行期間に入っている。

年間の総授業時数は、小学校において第 1 学年が 68 時間の増、第

2 学年が 70 時間の増、第 3 ～ 6 学年が各 35 時間の増となり、総合的な学習の時間が縮減され、高学年で外国語活動が週 1 コマ新設されている。中学校においては、各学年で 35 時間の増となり、共通性を重視し、選択教科を縮減して必修教科が増加され、総合的な学習の時間は 3 学年合わせて 190 時間縮減されている。

教育委員会としての対応は、小学校平成 23 年度、中学校平成 24 年度の完全実施に向けて、各校の取り組みについて、子供たちが安心・信頼して学べるよう最大の注意を払い、全教職員が一丸となって教育課程の編成を行えるよう指導・支援を行うとのことである。

②学校施設の現地調査

【御影小学校】

学校経営方針について校長より説明を受け、その後、全クラスの授業参観、学校施設の見学を行った。

本年度の児童数は男子 50 名、女子 63 名、合計 113 名で、教職員数は 18 名になり、児童 6.3 人に教職員が一人という恵まれた環境にある。

「あいさつ、あとかたづけ、ありがとう」の 3 つの「あ」運動を行うことで、しみず「教育の四季」が具現化でき、世界で活躍できる日本人としての土台形成の大きな夢を持って進めており、「意欲、実践、連携」を上手に進めようと先生に呼びかけている。

本年度の重点目標として、「確かな学びの追求、豊かな出会い触れ合いの追及、安心・信頼の更なる追及」を掲げ、最終的には学校教育目標である「みんなで学び かたをくみあう げんきな子」の育成に努めている。

授業参観では、子供たちは元気で熱心に授業を受けており、授業内容も大変良いと感じた。

学校施設については、非常に整理整頓されており、大きな問題点はないが、要望事項として、特別教室の黒板が磁石の使えない黒板である、体育館のワックスが剥けている点を挙げていた。

【清水中学校】

学校経営の概要について校長より説明を受け、その後、学校施設の見学、授業参観を行った。

生徒数は男子 101 名、女子 105 名、合計 206 名で、教職員数は相談員・非常勤講師を含めると 24 名になる。

本年度の重点目標の一つ目として、「地域と結び合う学校」を掲げ、しみず「教育の四季」と関連させた取り組みで、基本的生活習慣の定着を目指している。二つ目としては、「豊かな学力と心身をはぐくむ学校」を掲げ、意欲的な学びを広げる豊かで確かな学力の定着に向けた「家庭学習ノートの定着」、信頼の人間関係が支える豊かで健やかな心身の育成に向けた「いじめのない楽しい学校づくり」、前向きな愛情にあふれる豊かで美しい環境づくりに向けた「言語環境の充実」等を進めている。

また、新学習指導要領の対応は、昨年から教育課程検討委員会で漏れ、重なり等の確認が行われている。

施設見学では、各教室等の整理整頓は良好の状態で、アスベスト除去後の音楽室は、窓も開閉可能になって問題がないようである。

授業は体育祭準備のための特別時間割で、全生徒がグラウンドで練習を行っており、学級毎にチームワークを大切にして真剣に取り組んでいる状況を参観した。